

表 1 1985-2007 年の中国法定報告による伝染病の発病と死亡状況

	発病率(1/10 万)	死亡率(1/10 万)	病死(%)
1985	872.33	2.00	0.23
1990	292.22	1.15	0.40
1992	235.11	0.54	0.23
1993	189.82	0.47	0.25
1994	203.68	0.49	0.24
1995	176.24	0.34	0.19
1996	167.05	0.34	0.21
1997	192.11	0.33	0.17
1998	194.80	0.31	0.16
1999	197.63	0.27	0.14
2000	185.98	0.26	0.14
2004	235.85	0.53	0.22
2005	268.31	0.76	0.28
2006	266.83	0.81	0.30
2007	272.39	0.99	0.36

注：1990 年以前に報告された伝染病はペスト、コレラ、ジフテリア、流行性髄膜炎、百日咳、猩紅熱、麻疹、インフルエンザ、下痢、腸チフス・パラチフス、ウイルス性肝炎、脳炎、マラリア、カラアザール、ダニ脳炎、ツツガムシ、出血熱とレプラスピト症計 19 種である（なお、幼児の破傷風、肺結核は含まれない）。